

ブルーベリー摘み&バーベキュー ~真夏の太陽に照らされて~

8月4日の厚生クラブは『ブルーベリーの郷(菊川市)』にてブルーベリー摘みとバーベキューが行われました。

まず、ブルーベリーの郷のお姉さんから美味しいブルーベリーの見つけ方や摘み方を教えて頂き、その後、それぞれ農園の中に入って美味しいブルーベリーを探しました。

お姉さんが摘んでくださったものは、想像していた味と違い、甘くてとても美味しかったです。しかし、自分で摘んだものには酸っぱいものも多く、味だけでなくプロの目利きにも驚かされました。

その後、昼食はバーベキューを行いました。牛肉・豚肉・鶏肉・野菜どれも沢山あり、焼いても焼いても終わらず食べ応えがありました。その後、郷内の池にて釣りを楽しんだり、ソフトクリームを食べたり、再びブルーベリーを摘みに行ったりと、それぞれ楽しんでいました。お子様も何名か参加されておりましたが、満足そうな顔をみせてくれました。



会長より 行動指針をもう一度再確認しマスターしよう

アポロの社員は仕事のプロとして行動指針をマスターしなければならない。朝礼等で唱和しているが暗唱するだけではいけない。行動できてこそ意義がある。さあ、しっかり行動できるように頑張ろう。

製品づくり:
 絶え間なく努力で技術を磨き顧客のニーズを解決する。

毎日絶え間なく自分の仕事の技術を磨き顧客の要望に応えましょう。

顧客・取引先づくり:
 誠実な仕事と信頼の絆で良きパートナーとして共に繁栄する。

顧客の要望には120%応え感動を与えることが顧客も自分も喜びとなる。

仕事への挑戦:
 基本の重視と創意工夫で失敗を恐れず難しい仕事にチャレンジする。

難しい仕事に挑戦してこそ成長がある。

人づくり:
 心身バランスの取れた豊かな人間性と誰からも認められる人格を有した人材を育成する。

仕事を一生懸命にすることが自己成長につながる。性格の違う仲間たちと一緒に仕事をする事は相手の個性を尊重しなければ上手く仕事ができない。共に仕事を上手く完成させることが喜びにつながり毎日が楽しくなる。その結果人間としての成長となる。

社会への貢献:
 国境を越えて社会の利益に貢献する。

良い仕事をして顧客に喜ばれる製品を提供することは顧客も良い製品づくりができ利益を出せる。国内だけでなく海外にまで商品提供することによって社会の利益に貢献できるのです。

行動指針をマスターすることはあなた自身が成長することになるのです。顧客に喜ばれることは我々の喜びとなり生きがいとなる。毎日が楽しくなり更に良い仕事ができるようになる。そして顧客の信頼が増して口コミが増えていく。行動指針のマスターは会社発展の基なのです。頑張らしましょう。

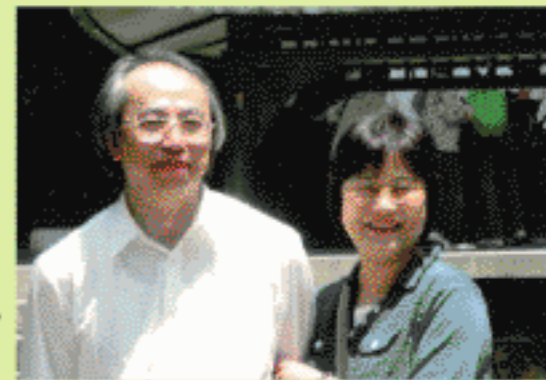
会長 太田 顯

思い出の写真 一鍋田 順一さん

この写真はいつ撮りましたか?
 たぶん3年前

どこで撮りましたか?
 たぶん京都の旅行

この写真に対する思い出を一言
 いつも元気なマドンナさんとのツーショット写真です。彼女の元気な一声で機度となく励まされた事を思い出します。感謝しています。これからも元気を宜しくです。



アンケート 今回のアンケートは尾白 いち子さんです

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| Q: マイブームは何ですか? | A: 旅行 |
| Q: 今一番大切な物は何かですか? | A: 現金 |
| Q: 今一番気に掛かっていることは何ですか? | A: 健康 |
| Q: 今一番困っていることは何ですか? | A: 裕にナシ |
| Q: 生まれ変わったら何になりたいですか? | A: セレブな女性 |
| Q: 宝くじで100万円当たったら何をしますか? | A: 100万円を前に置いて見つめてる |
| Q: 人地球最後の日に食べたい物は何かですか? | A: チキンステーキ |
| Q: お盆休みに一番印象に残っていることは何ですか? | A: 何年かぶりに落し人と呼ばれるプールに入って楽しめました |

和らぎ 佐久間ダム

電源開発 (J-POWER) が管理する高さ155.5メートルの重力式コンクリートダム。日本第9位の高さと第8位の総貯水容量を有する日本屈指の巨大ダムであり、戦後日本の土木技術史の原点となった日本の歴史に刻まれる事業である。佐久間発電所と新豊根発電所により最大147万5,000キロワットを発電する。又、天竜奥三河国立公園に指定されており、地域の主要な観光地になっている。



第6回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2012

7月24~25日の2日間アクトシティ浜松にて開催されました第6回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2012 に出展致しました。

今年は天候にも恵まれ、来場者数も7月24日: 4,320名、7月25日: 3,830名 2日間合計8,150名、アポロブースには2日間で約130名と多くの方がお見えになりました。

今年は『環境 ~ Think Together 考えよう未来、深めよう絆』というテーマのもと各社、新エネ・省エネ・再資源化・環境加工技術・緑化関連など環境に対する取組みを様々な形で披露されていました。

当社の展示品は停電時に役立つ「非常用電源」「EV専用充電器」「鉛蓄電池用充電器」「高圧トランス」等を出展致しました。皆さん、当社製品に大変興味を示して頂き、当社に対する期待を再認識する場となりました。

今後はお客様のご期待に応え社会貢献していく事で、当社の存在感を示していきたいでしょう。

最後に当社ブースにお越し頂いた方々、並びに出展にご協力頂きました方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



編集担当より

オリンピックが終わり、パラリンピックが開催されています。戦争で負傷した兵士たちのリハビリテーションとして「手術よりスポーツを」の理念で始まったパラリンピックですが、「もう一つのオリンピック」として注目しています。

島

学而不思則罔 思而不学則殆

日本の新たなエネルギー政策について議論がされていますが、その中で再生可能エネルギー(風力や太陽光など)の活用は今後さらに推進されていくこととなります。再生可能エネルギーの導入が進んだ場合には蓄電システムが必要になると考えられており、我々アポロ電気の充電器の技術を生かせる場面があるのでは、そんなことを思います。

また、それとは別にエンジニアの離れとして恐ろしいことです。核変換技術: (半減期の長い放射線を出す不安定核を短寿命な核か安定核に変換する技術)も研究されているようで、実現すれば核廃棄物処理問題の解決が期待できます。

加速器駆動核融合炉: (制御しなくても臨界に達する条件を作っておき、何らかの知恵をすることによって制御を行っている今の原子炉に対し、自然には臨界に達しない燃料を使い加速器により作られた中性子を燃料に照射することによって臨界にする方式)何らかの知恵をし続けなければ暴走してしまうのと、エネルギーの供給を止めれば停止するのでは、安全性が根本的に変わります。

核融合: 磁場閉込型(トカマク型、ヘリカル型など)と慣性型(レーザー核融合)などがあるようですが、実用化すればエネルギー問題の解決も期待できます。

その他にもいろいろと研究されていると思いますし、それぞれ今後何十年というスパンでの研究だとは思いますが、日本発のイノベーションとして世界をリードしてほしいと思いますし、出来ることなら自分自身もその場でのいかに貢献できたら、と、そんなことを考えます。

ちなみに、レーザー核融合について今年春頃の新聞だと思いましたが、光産業創成大学院大(浜松市西区にあります)にて浜松ホトニクスやトヨタ自動車との共同研究で連続反応に成功、という記事がありました。我々の地元でのこうしたニュースを聞くと、自分が関わっているわけではないのですがモチベーションが上がるような気がします。そんなことを考えながら、ふと思ったのが「学びて思わざれば則(すなわ)ち罔(くら)し。思うて学ばざれば則(すなわ)ち殆(あやう)うし。」という言葉でした。

技術部

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
 general@apollo-elec.co.jp

発行 アポロ電気株式会社
 〒438-0004
 静岡県静岡市卯原中1600-11 静岡さざさか工業団地
 TEL:0538-38-2228 FAX:0538-38-2898
 URL:http://www.apollo-elec.co.jp
 編集担当: 島・杉山・伊藤・横井・井上 発行日 平成24年9月1日